

反映状況票

(単位:百万円)

府省名	調査事業名	調査主体	取りまとめ財務局	5年度予算額	6年度予算案	増▲減額	反映額
内閣府	(3) 警察情報通信基盤整備事業	本省	—	5,906	6,520	613	—
事案の概要	民間の携帯電話通信網であるスマホ等を用いたPⅢ（ポリストリプルアイ）が令和元年度から導入され、警察独自の通信網である「車載通信系」（パトカー等に搭載）と関係が可能となった。①PⅢのスマホがしっかりと活用されているか、②民間通信網を用いることにより警察独自の無線中継所等をどの程度廃止できるか、といった視点から調査を行った。						

調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

1. 新規導入したPⅢ（スマホ）の活用状況がどうなっているか。

全国の地域警察官（警察署）にアンケート調査を行った結果、PⅢ（スマホ）の活用は進んでいるが、音声通話機能については、顔認証システムの不便さ等がネックとなって活用が進んでいないことが判明した。このため、こうした不便さの解消を図ることで、警察無線からスマホ等への切り替えを進めていくべきである。

2. PⅢの民間通信網を用いることにより、警察独自の無線中継所等をどの程度廃止できるか。

PⅢの民間通信網への警察通信網（車載通信系）からの置き換え可能性について調べると、

- ① 「補助中継所」の通信エリアは、理論値上、その全てがPⅢの民間通信網のエリアに含まれていることが判明した。このため、更新期においては現地調査を行って民間通信網の通信状況を实地確認の上、問題がなければ「補助中継所」を廃止すべきである。
- ② 総務省の電波遮へい対策事業等により移動通信用中継施設（民間通信網）の整備が進められている。このため、同事業等による整備が済んだトンネルの「トンネル中継所」については廃止すべきである。

さらに、警察通信網（署活系）についても、一定程度PⅢの民間通信網のエリアに含まれていることが想定される場合は、現地調査を行って通信状況に問題がなければ廃止し、民間通信網への置き換えを図っていくべきである。

反映の内容等

1. 新規導入したPⅢ（スマホ）の活用状況がどうなっているか。

将来を見据えた警察通信インフラの整備・運用に係る基本方針として、新たにPⅢ（スマホ）を主たる警察通信に位置付けるとともに、次期PⅢ（スマホ）に係る機能改善について引き続き検討を進めていく。

2. PⅢの民間通信網を用いることにより、警察独自の無線中継所等をどの程度廃止できるか。

(1) 補助中継所

民間通信網の通信状況を考慮し、PⅢにおいて使用可能である民間事業者網のサービスエリアに含まれている範囲に設置している補助中継所を廃止するなどの見直しを引き続き検討していく。

(2) トンネル中継所

民間通信網の通信状況を考慮し、PⅢにおいて使用可能である民間事業者網の通信が確保されているトンネル内に設置されている「トンネル中継所」を廃止するなどの見直しを引き続き検討していく。

(3) 警察通信網（署活系）

無線機（署活系）の現有機に係る減耗更新を行う予定だったが、PⅢへの機能統合を行うものとして計画の変更を検討しており、現在、PⅢで代替する場合の運用面に係る問題点の整理等のため、複数の県警察において実証実験を行っているところである。